

ΚΟΣΜΟΣ

特集

 ~新入生におしえたい~
私の図書館利用法

No.117 1997 春

巻頭・エッセイ	1
特集	2
研究室の窓	4
図書館引き出し帳	5
貴重書を訪ねて	7
図書館紀行	8
板倉図書館OPEN /	9
図書館アラカルト	10

巻頭エッセイ
Nourrissons notre jeunesse de Poésie !
Hiroyuki, MIYAJI

C'est à l'âge de dix-huit ans que je suis entré au lycée supérieur de l'ancien système (équivalent actuel de l'université). Il était très difficile deux ans après de la défaite de 1945 de se procurer les livres qu'on désirait. Il fallait souvent faire la queue pour les obtenir. C'est inconcevable maintenant. On était avide de livres. Je n'ai fait la queue qu'une seule fois devant la librairie IWANAMI à partir de six heures du matin pour acheter l'Etude du Bien de Kitaro NISHIDA.

Après mon inscription à l'université je me suis rendu sur l'heure à la bibliothèque. J'y ai trouvé le catalogue du fonds OKAMOTO et j'en ai été à la fois étonné et ému, car j'y ai découvert beaucoup de livres rares: notamment deux éditions originales de Chūya NAKAHARA, Le Chant de la Chèvre et Poèmes d'Autrefois, un Recueil de Poèmes de Taro TOMINAGA et une traduction en japonais d'un recueil de poèmes français, La Foule sous la Lune de Daigaku HORIGUCHI. J'ai trouvé aussi une Histoire de la Poésie de l'Époque MEIJI et TAISHO, deux grands volumes de Kōnosuke HINATSU etc. Je me suis plongé dans ces recueils, surtout les poèmes de CHŪYA. Tout au long du premier trimestre, je me suis rendu à la bibliothèque tous les jours après les cours et j'ai emprunté ces deux recueils de CHŪYA l'un après l'autre que j'ai soigneusement recopiés et appris par cœur. J'ai moi-même composé beaucoup de poèmes. Mais j'ai bientôt découvert mon absence de talent pour la poésie et j'ai cessé d'écrire des poèmes. J'ai étudié la littérature française et aujourd'hui je suis rousseauiste. Mais je crois que la poésie est la source de la littérature. Encore maintenant, je sais par cœur quelques poèmes de CHŪYA. Je voudrais conseiller aux jeunes gens de se nourrir de poésie.

〈要約〉 — 若いころは詩に親しもう！

私が旧制高校1年(現在の大学)に入学したのは18歳で、敗戦後2年目の1947年の春だった。現在では考えにくいことだが、欲しい本を手に入れるのが難しく、本屋に行列して新刊書を買わねばならないことがよくあった。誰もが書物に飢えていた。私も西田幾太郎の『善の研究』を買うために1度だけ岩波書店の前に朝6時から並んだことがある。

そこで入学するとすぐに図書館に行ったのだが、驚くと同時に感激した。先輩が寄附した「岡本文庫」という蔵書があり、今では文庫本で案に入手できるが、当時はまさしく希観本の詩集がふんだんに見つかったからである。萩原朔太郎『月に吠える』『青猫』、堀口大学訳詩集『月下の一群』、『富永太郎詩集』、三好達治『測量船』、小林秀雄訳詩集『酪酊船』(アルチュール・ランボー作)、中原中也『山羊の歌』『在りし日の歌』、さらに2冊本の日夏耿之介『明治大正詩史』まであった。私は一学期は時間の許すかぎり図書館に入りびたってこれらの詩集を読み耽り、特に中原中也にいれこんだ。その詩を丁寧に書き写し、暗誦さえもした。友人と同人雑誌をつくり、詩もかなり書いたが、どうも詩の才能に乏しいことがわかり、間もなく詩作を止めてしまった。その後フランス文学が好きになり、現在ではルソーを中心とする十八世紀の文学・思想を研究しているが、今でも文学の本質は詩にあると思っている。中也を初め、何人かの詩人の詩の幾つかは、今でも暗誦できる。私の経験に基づいて言えば、若いころに詩をたくさん読むことは心の糧となり、いろいろな年で年をとっても役立つのではないだろうか。

(みやじ・ひろゆき 教養課程フランス語教授)





～新入生におしえたい～ 私の図書館利用法

御入学おめでとうございます。大学生になってホーッと一息ついていることと思います。この学生時代で一生の恩師や友にめぐりあう可能性^④。良き出会い、良き運をつかむためにも、まずは自分を磨くことです。短い学生時代をいかにEnjoyするかは、あなたかたの学生生活第一歩にかかっています。そこで、図書館からお送りするのは、諸先輩からの新入生へのアドバイス。特集を読んではじめの一步！を踏み出してください。



大学生活の中で図書館の役割は二つ。一つは自分の選択した講義をより深く理解するため。もう一つは自分の好きなことを研究するため。他にも役割はあると思いますが、私はこう考えています。幸いなことに私たちは、白山・朝霞・工学部の3カ所に立派な図書館をもっています。もうすぐ、板倉という所に4つめの図書館が出来るそうです。これらの図書館が私達の大学生生活をしっかり支えてくれます。

入学して1カ月も過ぎると色々なことに気付くでしょう。自分の好きな講義が履修出来ないだとか、講義が期待したものと違う、など。がっかりすることの方が多いかも知れません。そんなときは図書館へ行きましょう。あなたをやる気にさせるものがたくさんあります。そして、自分の好きな勉強をします。あれをやれ、これをやれという勉強は終わったのです。私は、大学の講義のほかに資格を取ることを自分に課しました。毎週このあき時間には資格のための勉強をします。昔から旅行が好きだったので、趣味を兼ねて『一般旅行業務取り扱い主任者』を目指しました。私が受験したところは8科目のテストがあり、その中に『政治・文化・地理』という有名な観光地を答えるものがあり、その攻略には手を焼きました。世界の有名な観光地を挙げたらきりが無い

でしょう。そうしたある日、勉強の休憩に視聴覚室に足をはこぶと、『フランス』『ドイツ』『スペイン』……などなど、たくさんのビデオがあるのに気付きました。

これを利用しない手はないと思い、毎日2本づつ借りて主な観光地は頭の中に入れました。図書館のビデオは翌日返却なので職員の方と顔を合わせる機会が多くなり、顔を覚えられ『試験頑張れ』と応援してもらえるまでになりました。その後も図書カードにはんこが押せなくなるほどビデオを借り続け、資格をなんとか手にすることが出来ました。図書館と講義の空き時間、あるいは失望して出席する気なくなった講義時間を利用すれば、通常のカリキュラム以上のものが大学生生活で得られます。大切なのは自分から何かをやろう、知ろうとする気です。そのとき、図書館を上手に利用すればきっと退屈ではない充実した学生生活が送れるでしょう。図書館を生かすも殺すも自分次第です。

私は今図書館の裏側が気になりだし、アルバイトとして図書館に潜入し今までとは逆の立場で図書館を眺めています。

(はっとり・やすひこ 経済学部経済学科3年)

図書館利用で勝つ!!

服部 靖彦



コスモス編集委員より
今回の特集につき多数のご応募ありがとうございました。

「なーんだ、このカセットテープ図書館にあったんじゃない。」

カセットテープに限らず、CDやレーザーディスクに本…買ってしまっただけで、「しまった」と思ったことも結構あるのでは…?

限られた自己資金を有効利用するためにも、図書館通になることをお勧めします。

授業が始まり、課題が出るとわかると思いますが、研究の資料となる本がいっぱいで助かります。こんなこと許されるのかどうか知りませんが、私は教科書を買わずに、図書館の本たちを頼りに授業を受けてました。この利用法は以外といけます。ただし、試験やレポート時には、本が貸し出されてしまうので、ダッシュで図書館に行くことを忘れずに!

それから、冒頭にも書きましたが、カセットテープ等もあるので、もちろん映画を観ることもできます。これは見逃さない! レンタルビデオ店に通っている人たち、考えなおしてみませんか? あっ、でもさすがにアッチ系のは置いてないようですが。

本の冊数に比べるともの足りなさを感じるメディアスクエアだけど、皆で力を合わせて拡大させましょう。最後に私独自の楽しみ方を伝授しましょう。

『マン・ウォッチング』

永島 絵留美

どの時代、どの場所にも人々に語り継がれる伝説の人物がいます。当然、東洋大学の図書館にも摩訶不思議な方々がちらほらと現れます。

だから私は新入生に伝えたい! 図書館に一步足を踏み入れたならば“マン・ウォッチングをせよ”と。毎日朝から晩まで図書館に入りびたっている人、あの人は一体いつバイトをしているんだらう。本を枕に気を失っている人…。ホントに色々な人がいます。でもねそういう濃い人達を見て、その人物像など想像していると、なんだか楽しくなります。

ちょっと気をつけたいのは、自分自身も誰かの観察の対象になっているかも知れないということ。知らない所で話題になるのは嬉しいやら恥ずかしいやら複雑なものです。あまり利用者チェックに熱が入りすぎてキョロキョロしていると怪しまれるので御注意。

図書館の利用法は、1つだけではありません。少し視点をずらしてみ、追いつかれない程度に楽しんでください。

その他、様々な利用法があると思いますが、あとほもう大学生なんだから、自分で発見してください。(ながしま・えるみ 法学部法律学科3年)



図書館を利用する人には何種類かの人がいます。まずただの大好き。2番目に勉強、特に授業のレポートや、卒論のために資料探しをする人。3番目に寝ている人。4番目は図書館員を困らす危ない人。こんな人たちの中で自分は4番目、もとい2番目に入りますが、この人たちが最も多いんじゃないでしょうか。そこでテーマは『図書館を使い倒す』。

自分は現在大学院に身を置いているのですが、この6年で最も図書館を「使い倒した」のはやはり2年前の卒論執筆時でしょう(ちょっと遠い目…)。学部4年の1年間は図書館に入り浸り…と言うのは大げさにしても、とってもお世話になりました。当時はまだ外見は4階書庫は9階の不思議(笑)な図書館だったのです。

さて一般に「図書館を使う」と言えば、開架を眺めて役に立ちそうな本をピックアップする、或いは蔵書目録を見て目的の本を探すぐらいのものでしょう。自分も学部3年まではそうでした。ところが卒論となるとそれだけと言うわけにもいきません、なん

『図書館を使い倒す』

田中 敏

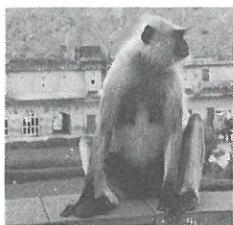
といっても大先生方の書かれた「専門書」、或いはとても敷居が高く(当時はそう感じたんです…)膨大な量の学術雑誌の中から自分のテーマに沿った論文を拾ってこなくてはなりません。そんなとき使ってお得、使わなかったら一生の損ってなぐらいなのが、そう「図書館員」の皆さんです。いつもカウンターにいたり書棚の回りで配架作業をしている素敵なお兄さんやお姉さんたちは何もそういった事務的な仕事や肉体労働ししかないわけではありません。この方々は図書館のプロフェッショナルなのです。自分もあの頃は何でもかんでも聞いたり頼んだりして皆さんを困らせたり走り回らせたりしましたが、おかげで立派な(一応Aっす)卒論が書けました。

もちろんほかにも資料探しの方法はいくらでもあります。まずは図書館員の皆さんに何でも聞いて仲良くなる。これが第一なのです。

(たなか・さとし)

大学院文学研究科仏教学専攻博士課程前期2年)





ボクらはみんな生きている

菅沼 晃



生命あるものの世界—人間とサルと大麦の話

ニューデリーの北方、300キロほどのところに、ガンガー河に沿ってハルドワールというヒンドゥー教の聖地がある。ヒンドゥー教ヴィシュヌ派の人々はハリ・ドワール（ヴィシュヌへの門）とよび、シヴァ派の信徒はハラ・ドワール（シヴァへの門）とよび、両派の対立を避けようとして、一般にはハリ・ハラの母音を取ってハルドワールという。インド中から巡礼者が集まり、12年に一度のクンプ・メーラー祭には何百万という人々がおしかける聖地である。ここに集まるのは人間だけではない。牛とサルも、神聖な動物とみなされ、この聖地の常連であり、人間と対等に、そこにいる。

昨年の秋、私はこの聖地で、ちょっと恥ずかしい体験をした。私は昼食代わりに食べようとして、バナナの一房を露店で買って、手に持っていた。そのとき、白い毛並みのサルが私にとびつき、あっという間に私の手からバナナを奪って逃げた。

ところが、うろたえたのは私だけで、巡礼者たちはおどろくこともなく見ているだけで、私に同情してくれている様子はない。見れば、彼らも手に何やら食物を持っている。よくよく観察すると、彼らは自分の食物のほかに、10センチほどに切った新聞紙にくるんだサル用の食物を用意していて、自分たちが何か食べるときは、必ずこれをサルに与えている。彼らにとっては、サルもこの巡礼地の神の分身であり、サルたちと共生させて貰うためには、何ほどかの「布施」をしなければならぬのである。してみれば、悪いのは私の方であって、サルにとってみれば、私は自分の食事のことばかり考えていて、共生の手続きである布施を怠った無礼者、ということになるのであろう。こう考えたとき、私はバナナを奪われた恥ずかしさを忘れて、インドにおける「布施」の意味について、妙に納得した気持ちになったのである。

サルは哺乳類であるから「生命をもつもの」として人間の仲間に入れてもおかしくないであろう。しかし、インド的な生命の観念は植物にも及んでいる。最近、私はサンスクリット文法学の文献の中で、その実例を見つけた。この話をするためには、最少限のサンスクリット文法学の話をしておかねばならない。少々めんどうだが、我慢して読んでいただきたい。

サンスクリットはもともとインド・ヨーロッパ共通基語から派生した言語であるが、古代インドにおいて独自の発展を遂げた。まず、BC. 5—4世紀の天才的文法家パーニニは、当時の北インドの学識あるパラモンの言語をもとに、サンスクリット文法を3996のストラとよばれる短文によって規定した文典を著した。

この文典を、文法家カーティヤヤナが『ヴァールツァティカ』とよばれる註釈によって補修し、BC 2世紀の註釈家バタンジャリが『大註釈書』（マハーバーシュヤ）を著して、サンスクリット文法体系は確立した。

さて、この『パーニニ文典』で第2格（Accusative case）の意味と用法を説くうちに、次のストラがある。原文は分かりにくいので、註釈によって意味を補って訳出してみよう。

「動くこと、知ること、食べることを意味する動詞、音声の意味する語を目的語とする動詞、および自動詞の、非使役文中の動作主は、使役文中では第2格となる。」（P.I.4.52）

このうちの「食べることを意味する動詞」について、『ヴァールツァティカ』では、「食べるということが他のものに害を与えない場合は、非使役文中の動作主は、使役文中では第2格ではなくて第3格（Instrumental, 具格）となる」という。

たとえば、『マハーバーシュヤ』で引く例文

khādayaty annam baṭuṇā
‘彼は子供に食物を食べさせる’

の場合は、「食べさせる」ということによって害を受けるものは何もない。だから使役文中の動作主は「子供に」は第3格 baṭuṇā (<baṭu-m. ‘子供’ Sg. Ins.) となる。しかし、

bhakṣayanti balivardān yavān.
‘彼らは牡牛たちに大麦を食べさせる’

という場合は、「食べさせる」ということが、目的語の yava ‘大麦’ に害を与えるから、動作主は第2格 balivardān (balivarda-m. ‘牡牛’ Pl. Ac.) となるというのである。

どうして大麦に害を与えることになるのか。カイヤタという註釈家によれば、この例文の‘大麦’ (yava) は、発芽した段階の大麦で、cetana ‘有情’ とよばれるという。古代インドのサンスクリット辞典『アマラコーシャ』(I.4.8) によれば、cetana は prāṇin ‘生きている者’、jantu ‘生きている者、人間’、śarīrin ‘身体をもつ者、人間’ と同義とされている。つまり、cetana とよばれる時期の大麦は、まさに‘生きもの、生命をもった存在’として扱わなければならない、という一般的な観念がなければ、この例文は成り立たないのである。

このように‘生命をもつ存在、有情’として扱われる植物は、大麦のほかにもあるのかも知れない。人間・動物・植物を同じように生命をもつ存在と見る世界観は、「共生」の問題を考えると、重要な手がかりを与えてくれるように思われる。

(すがぬま・あきら 文学部印度哲学科教授)



いまさら? Internet!

細田 祥平

e-mail : hosoda@hakusrv.toyo.ac.jp

はじめに...

みなさんこんにちは。今回私はインターネットについて簡単に述べさせていただきます。とはいっても、私もインターネットの権威とか、情報検索の達人といった方々とは程遠い素人なので、皆さんの方がよくご存知だと思いますがご了承願います。もしもみなさんの学習・研究のための情報収集のみならず、学生生活の多少のエッセンスとなれば幸いです。

Internet についてなに？

わかりません。ちょっとそれじゃ困るよという方、すみません。というのは使う人によって様々な解釈があり、これといった定義づけは難しいと思います。ただ、わかっているのは世界中結ぶネットワークで（よくネットワークのネットワークといわれますよね）膨大な情報を得たり、情報を発信すること、またはコミュニケーションを可能とすることです。日進月歩で成長していく Internet はこれまでの未来映画でしか見られなかった夢を実現へ向かわせる可能性があります。これからは今以上に私たちの生活でなくてはならないものになっていくでしょう。

どういふことができるの？

なんでもできます。というのは無理がありますが、利用・作業環境次第では、これに近いことが、いつでも可能となっていくでしょう。現在利用できる、主なサービスは以下のようなものです。

◇電子メール

インターネットツールの中でもっとも普及したツールです。1つまたは複数のメールを1つまたは複数の相手に瞬時に送ることができます。メーリングリストという、メールを用いた情報交換、情報提供も一般的になってきています。

◇WWW (World Wide Web)

なんといっても、ここまで Internet を普及させた立役者です。これが Internet だと思っていられちゃう方もいるぐらい。テキストのみならず、画像や音声などのデータを世界中、すぐに閲覧できるのは魅力的です。また、FTPやGopherといった情報についても統合的にアクセスできるので非常に便利です。

◇Telnet

世界各地のコンピュータにアクセスすることができます。

◇FTP (File Transfer Protocol : ファイル転送プロトコル)

世界各地に散らばるデータをコピーして手元に取り寄せるための強力なツールです。

◇Gopher

Internet のメニュー式検索ツールでWWWが登場するまでは非常に人気がありました。

◇Net News

電子掲示板のようなもの。分野別に様々なニュースグループに分れています。

◇Wais

Internet 上のリソースをインデックスに基づいて検索するサービスです。

何が必要なの？

では、何を準備すれば Internet を始められるかを簡単に述べておきます。

◆パソコン

現在では、モバイルギア（携帯が容易なシステム機器）やインターネットテレビ等が出てきていますが、用途が特別でなければパソコンをお勧めします。

◆モデム または T A (Terminal Adapter)

◆電話回線

T Aを用いる場合は I S D N回線の契約が必要。携帯電話や P H S は今後の更なる改良を期待。

◆ソフトウェア (OS / ブラウザ / メーカー等)

◆プロバイダとの契約

学習・研究用の
利用方法は？

ここまでだと、普通の情報誌と同じ内容なので、情報収集方法と活用法を簡単ですがいくつかまとめてみました。

◎O P A Cとして図書館の蔵書を検索する。

世界中には何千という図書館がホームページを持っています。そこでは大抵 WWW, Telnet または Gopher といった形で蔵書検索サービスを行うようになってきています。これによって自宅など、離れた場所からも所蔵や貸出情報が得られるわけです。また、ひとつの図書館へアクセスすると、協定機関や、他大学の図書館、研究機関へのリンクが張られていて、非常にアクセスが容易となっています。

図書館は今電子図書館へ進んでいくとの見方が有力です。数十年後には WWW で検索して閲覧まででき、図書館には紙の“本”がほとんど無い、といったことになっているのかもしれない。

もうすぐ、東洋大学図書館でも図書館のホームページが開設される予定です。

◎統計、書誌情報、著作権情報等、その他様々なデータベースの検索が可能。

Internet 上には膨大な数の情報が存在します。官公庁や、一般企業のデータは図書館で資料を使ってノート等を作るより、検索、コピー、保存、加工など（ここらはコンピュータのお家芸！）Internet の方が簡単なケースが増えてくるでしょう。

◎新聞もWWW上で読める。

現在、国内の大手の新聞についてはその日の新聞（省略されているが）を自由に閲覧することができます。ただ アメリカでは有料化が進んでいるため、日本でもその方向にすすむのでは？と思います。データベース化しやすいのがメリット。

◎就職情報の入手。

学術の研究とは異なりますが、就職のための研究はできます。なにしろ、会社案内やデータはホームページ等でチェックできるし、更には Internet でしか就職情報を流さないところもあったくらいだから、やっぱり、重要です。

おわりに...

とにかく、まだ体験されてない方は触れてみてください。これからも、どんどん進化していく世界に興味を抱きつつ、反面使いこなすのが大変だなあというところで結ばさせていただきます。いまさら？Internet！とんでもない。これから Internet！

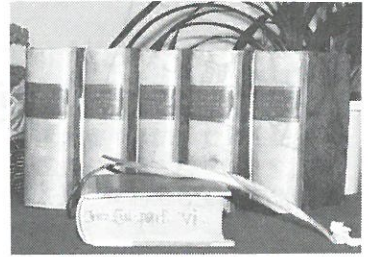
(ほそだ・しょうへい 本学図書館情報システム担当)

貴重書を訪ねて

『ユスティニアヌス法典への招待』(1)

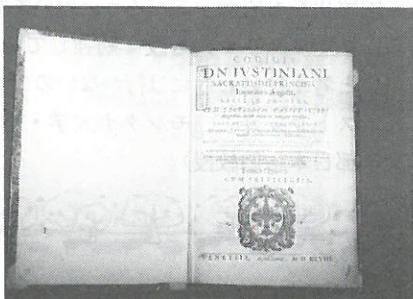
— *Corpus juris civilis* —
(1598—1621)

白川和雄



1) ローマは三度世界を支配した。一度は武力によって、そして一度はキリスト教によって、さらに一度は法律によって、といわれる。ここで法律とは、いわゆるローマ法として近代法思想の基礎となったもので、主として東ローマ皇帝ユスティニアヌス(Justinianus在位527~565)が529年から534年にわたり、10人の委員に命じて編纂した市民法大全(*corpus juris civilis*)である。この市民法大全は法学提要(*Institutiones*)、学説彙纂(*Digesta*)、勅令集(*Codex Justinianus*)の三部からなる。そして後にユスティニアヌス以降の諸皇帝の新法令集(*Novellae Constitutiones*)が追加された。

2) ところで、十二世紀の初め、ユスティニアヌス法典の中で最も重要なディゼスタ(*Digesta*)又はパンデクタクエ(*Pandectae*)がイタリアで発見され、これによりヨーロッパに法律の学問的研究が復活した。ことにイタリアのボロニア(Bologna)でのイルネリウス(*Irnerius*)が有名であるが、その他にもローマ、パヴィア等でもローマ法の研究がなされた。このような当時の法学研究の隆盛は、法王、皇帝、都市等間の政治関係や都市の発達と通商活動の拡大等に由来するものである。



3) イェーリングによれば、「近代世界にとってのローマ法の意味は、ローマ法が一時的に法源として行われたことにあるのではなく、ローマ法がわれわれの全法的思考を変えたことにある。ローマ法はキリスト教と同じく近代世界の要素となったのである。」すなわち、イェーリングは、ローマ法の精神の中に近代世界に対して普遍的に通用する要素が存在することを強調している。ローマ法がこのような普遍的要素を含んでいたために近代諸国家によるローマ法の継受が行われたものと考えることができよう。

このことは、ローマ市民法と万民法との関係からも推測できる。すなわち、ローマの領土が拡大し商業大帝國となり、世界商業の中心となったことにより、以前と異なる自由円滑な取引を可能とする多様な無方式の契約が認められている。いわゆる万民法(*jus gentium*)は、これら取引の要求から生まれた取引法である。このように、市民法(*jus civile*)と万民法(*jus gentium*)とに分かれ、前者は当該国民に特有であるのに対し、後者は他国民にも共通に適用になる。従ってローマ市民法はローマ市民に特有なのに対し、万民法はローマ市民権のない外人にも適用されるが、いずれもローマ法である。そして共和政末期の*lex Julia*により、イタリアの全住民にローマ市民権が附与され、212年のカラカラ(*Caracalla*)の勅法に基づき、特別の例外を除き、ローマ領内の住民全部にも及ぼされてから、ローマ領内については、この理論的対立は意義を失うことになった。

[次号につづく]

(しらかわ・かずお 法学部教授)

東洋大学の図書館と国際化

Strecher, Mathew C.

去年初めて東洋大学の図書館に入った時には一階以外何も見なかったので、「雑誌とテレビしかないなあ」と思いましたが、それを今思い出すとすごく恥ずかしいです。

今度、上智大学の『^{キョウモンクニョウゴニカ}日本文化誌』に「純文学と大衆文学」という文章を出します。その最後のブルーフの整理段階で色々な資料が必要になったので、再び図書館を訪れると、資料は階下にあると教えられました。で行ってみると「ワー」という感じで、カード・カタログからコンピュータ・ターミナルまで見たら「参ったな」と思うしかありません。そしてカウンターからは「何かお探しですか。お手伝いしましょうか」と優しい声が聞こえました。

私の捜していたのは例えば昭和7、8年の『中央公論』に載った正宗白鳥の文章とかそういった細かなもので、たぶん見つからないだろうと思いましたが。モンタナ大学の図書館では、軽蔑するわけではありませんがこうした事は確かに無理だと思います。館員の数は少ないし、皆自分の仕事で大変忙しそうで、こんな面倒臭い問題には絶対に手を触れようとしません。それでここでも無理だろうと思ったわけですが、頼んでみると、^{びっくり}吃驚するほど早く、その館員は資料をみな探し出してくれたのです。

僕の研究は純文学と大衆文学の区別だけでなく、大正文学も、さらに今扱っているのがポストモダン的な現代文学者たちなので、モンタナ大にもこれらの蔵書があれば…と考えていました。でもモンタナには確かにこんな日本語の資料はないけれども、日本は日本、向こうは向こうじゃないです。向こうには英語の資料なら一杯あるでしょう。

そこで試しに、英語の資料を東洋大で探してみることにしました。結果は……皆ありました。何を探しても、殆ど皆次々に僕の手に飛び込んできました。「参った」と思ったのです。

もちろん「参った」というのは冗談に類しますが、実際東洋大学の国際性は誠に尊敬すべきだと思います。英語だけでなく、何ヶ国語かで書かれた資料が何千冊、あるいは何万冊もあるのは私達アメリカ人にとって教わることが多いのです。それは、もう少し注意深く世界に興味を持って、もっと沢山考えねばならない、ということです。

私達アメリカ人は英語を「世界言語」として見ているのです。それはそうかもしれませんが、けれども他の言語を無視しては絶対にいけないのです。特にアジア系言語は無視されているようで、英語の資料以外は殆どドイツ語、フランス語、スペイン語の「ザ・ビッグ・スリー」(最大言語の三つ)と呼ばれる言語資料です。これを見ると、アメリカは本当に国際社会であるのか非常に大きな疑問であると思います。

この状況は図書館に限ったことではありませんが、図書館はこういう問題を象徴しているように思えるのです。最初に書いた様に、初めて東洋大学の図書館に入った時は雑誌とテレビだけ見てがっかりしました。しかしそれ以来何度も訪れるうちに、東洋大学の国際性を示していることに気が付いた。これを拡張すれば、図書館は社会を象徴する、日本の国際化をも象徴するだろうと思います。この例から、私達アメリカ人も段々勉強していったほうが良いと考えないわけには行かないのです。(マシュー・ストレッカー モンタナ大学・外国語・外国文学部日本語助教授)



いよいよこの春開設する、国際地域学部と生命科学部からなる板倉キャンパスの目玉になるのが、図書館です。

東武日光線の新設駅、「板倉東洋大前」で下車、駅前広がる幅40mの道路を道なりに7、8分進むと、正面にどんと近代的な板倉キャンパスの景観が広がります。1号館を後に、2号館と食堂棟を抜けると、そこが図書館です。

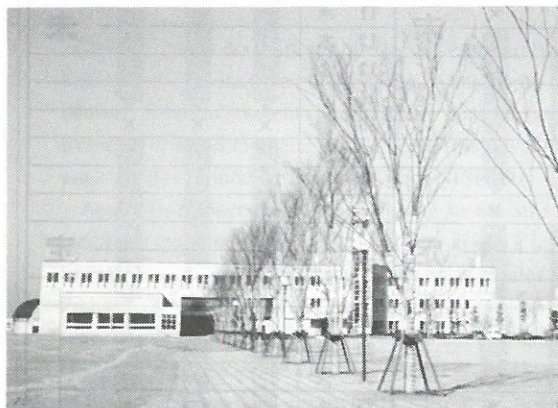
玄関には12本の柱がすらりと立ち並び、まるでギリシア神殿を思わせる装い、一歩中に足を踏み入ると、東洋大学のシンボル四聖像が飾られています。一たび窓外に目をやると、連なった雄々しい山々が

間近に語りかけてくれる、そんな壮大なパノラマが見られます。

施設も充実しており、AVコーナーには、5台のマルチメディアブース、検索コーナーには目録検索システム『TRITON-OPAC』があります。また、資料は1階に参考図書・雑誌・文庫・新書・新聞など、2階に一般図書が配架されています。

皆さん、この図書館を上手に利用して、有意義な学生生活を送ってください。

スタッフは現在3名ですが、心より皆さんのご来館をお待ちしています。



板倉図書館 Open



水と緑と太陽の町 板倉 新キャンパス誕生!!

〈所蔵資料データ〉

図書：和書 8000冊	洋書 5000冊
雑誌：和雑誌 164タイトル	洋雑誌 186タイトル
視聴覚：ビデオ 320本	カセット 42本
CD-ROM：28タイトル	

東洋大学板倉図書館
〒374-01 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1
TEL. 0276-82-9060

アクセス



図書館アラカルト LIBRARY CALENDAR (白山・朝霞・工学部・板倉)

※詳細は各館にお問い合わせください。

	4 月					5 月					6 月			
	白山	朝霞	工学部	板倉		白山	朝霞	工学部	板倉		白山	朝霞	工学部	板倉
1 火	↓	↓	↓	↑	1 木	×	×	×	↑	1 日	×	×	×	↑
2 水	↓	↓	↓		2 金	×	×	×		2 月	↓	↓	↓	
3 木	↓	↓	↓		3 土	×	×	×		3 火	↓	↓	↓	
4 金	↓	↓	↓		4 日	×	×	×		4 水	↓	↓	↓	
5 土	↓	↓	↓		5 月	×	×	×		5 木	↓	↓	↓	
6 日	×	×	×		6 火	↓	↓	↓		6 金	×	×	×	
7 月	↓	↓	↓		7 水	↓	↓	↓		7 土	↓	↓	↓	
8 火	↓	↓	↓		8 木	↓	↓	↓		8 日	×	×	×	
9 水	↓	↓	↓		9 金	↓	↓	↓		9 月	↓	↓	↓	
10 木	↓	↓	↓		10 土	↓	↓	↓		10 火	↓	↓	↓	
11 金	↓	↓	↓	未	11 日	×	×	×	未	11 水	↓	↓	↓	未
12 土	↓	↓	↓		12 月	↓	↓	↓		12 木	↓	↓	↓	
13 日	×	×	×		13 火	↓	↓	↓		13 金	↓	↓	↓	
14 月	↓	↓	↓		14 水	↓	↓	↓		14 土	↓	↓	↓	
15 火	↓	↓	↓		15 木	↓	↓	↓		15 日	×	×	×	
16 水	↓	↓	↓		16 金	↓	↓	↓		16 月	↓	↓	↓	
17 木	↓	↓	↓		17 土	↓	↓	↓		17 火	↓	↓	↓	
18 金	↓	↓	↓		18 日	×	×	×		18 水	↓	↓	↓	
19 土	↓	↓	↓	定	19 月	↓	↓	↓	定	19 木	↓	↓	↓	定
20 日	×	×	×		20 火	↓	↓	↓		20 金	↓	↓	↓	
21 月	↓	↓	↓		21 水	↓	↓	↓		21 土	↓	↓	↓	
22 火	↓	↓	↓		22 木	↓	↓	↓		22 日	×	×	×	
23 水	↓	↓	↓		23 金	↓	↓	↓		23 月	↓	↓	↓	
24 木	↓	↓	↓		24 土	↓	↓	↓		24 火	↓	↓	↓	
25 金	↓	↓	↓		25 日	×	×	×		25 水	↓	↓	↓	
26 土	↓	↓	↓		26 月	×	×	×		26 木	↓	↓	↓	
27 日	×	×	×		27 火	↓	↓	↓		27 金	↓	↓	↓	
28 月	↓	↓	↓		28 水	↓	↓	↓		28 土	↓	↓	↓	
29 火	×	×	×		29 木	↓	↓	↓		29 日	×	×	×	
30 水	×	×	×	↓	30 金	↓	↓	↓	↓	30 月	↓	↓	↓	↓
					31 土	↓	↓	↓	↓					

× = 閉館

〈白山(03-3945-7325)〉

通常開館時間
平日：9:00~21:30
土：9:00~20:00
※4/1(火)~4/4(金)
9:00~17:00
4/5(土)
9:00~13:00

- ◆お知らせ◆
◎図書館見学ツアー
4/15~21
◎OPAC・CD-ROM利用説明
4/22~28
◎図書館ガイダンス
5/19~24

〈朝霞(048-468-6329)〉

通常開館時間
平日：9:00~18:15
水：9:00~17:00
土：9:00~16:00

- ◆お知らせ◆
◎視聴覚資料の貸出点数
が変わります。
2点→5点
詳細は分館事務室まで
お問い合わせください。
◎図書館ツアー
4/23~25
5/8・9・12・13

〈工学部(0492-39-1321)〉

〈建築資料室(0492-39-1432)〉

通常開館時間
平日：9:00~18:00
土：9:00~16:00
※4/1(火)~4/4(金)
9:00~17:00
4/5(土)
9:00~13:00

- ◆お知らせ◆
「利用のしおり」が新し
くなりました。
ご活用ください。

〈板倉(0276-82-9060)〉

開館時間(予定)
4月
月~金：10:00~17:30

※4・5・6月の予定は
別途お知らせします。